

エゾシカの1年



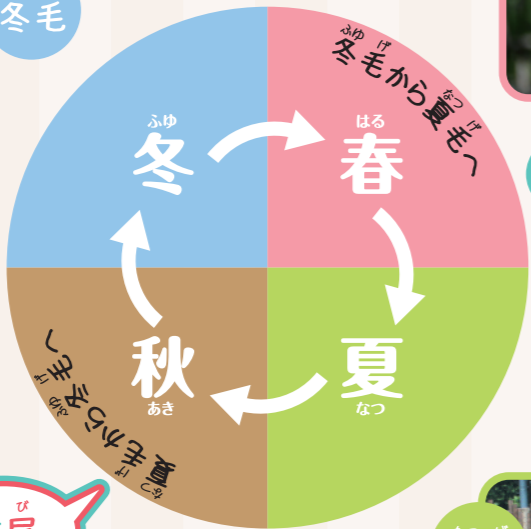
冬毛

角が落ちる



角の生え始めは「袋角」といって中には血が通っているよ!

寒さをしのぐため、長い毛の下に細くてやわらかい毛がびっしり生えています。枯れ葉や樹木に溶け込むことができます。



袋角が生えはじめる



出産



交尾

血液の流れが止まり皮がはがれて角の完成! これを枯れ角といいます。

角が完成



夏毛

鹿の子模様と言って、林の中の木漏れ日に溶け込むことができる柄です。



角を切った後

円山動物園ではケガや事故を防ぐため、秋に角を切っています。残った根元の部分は、野生のエゾシカと同じように春に自然に抜け落ちます。
※シカのなかまは、オスしか角が生えず、毎年生え変わります。

円山動物園のエゾシカ

4頭(オス2頭/恩・歩、メス2頭/芽・アマンダ)がくらしています。



恩♂



歩♂



芽♀



アマンダ♀

問題1 足の指は何本?

こたえ 4本です。体を支えている2本の指の他に、副蹄(ふくてい)と呼ばれる指が2本あります。

問題2 エサから離れた場所でも口をモグモグしているのはなぜ?

こたえ 一度飲み込んだ食べ物をもう一度口の中に戻し、噛みなおして消化しやすくしています。これを反芻(はんすう)といいます。

こんなところに注目してみよう!



エゾシカの歴史



1 エゾシカはかつて北海道の全体に生息しており、エゾオオカミやヒグマ、アイヌの人々と共存していました。



2 北海道の開拓に伴って、肉や毛皮などの利用を目的とした乱獲や、エゾシカの餌となる樹木や草の伐採がおこりました。また、2度の記録的な豪雪によってたくさんのエゾシカが命をおとし、絶滅寸前にまで数を減らしました。



3 これまでエゾシカを獲物としていたエゾオオカミは、エゾシカの減少に伴って家畜を襲うようになったため、人間による駆除が行なわれ、わずか20年の間に絶滅してしまいました。



4 エゾシカの絶滅を防ぐために禁猟などの保護政策がとられ、天敵であるオオカミの絶滅、農耕地の増加などにより、エゾシカはどんどん数を増やしてきました。

エゾシカによる被害

北海道では毎年エゾシカによって牧草・小麦・稲・ジャガイモなどの農作物や、家を建てるため等にも使われる樹木が大量に食べられてしまっています。

このままエゾシカが稲や小麦・牧草などを大量に食べてしまうと米やパンの値段が上がったり、牛乳や肉の値段も上がってしまうような事態になるなど私たちの生活に影響が出てくる可能性があります。実際に小麦や稲、牧草を育てて生活をしている農家さんは作物を食べられてしまい収入が減ってしまうなど、とても困っています。

平成28年度は約39億円分の農作物や材木が被害を受けました。
39億円というと...札幌市内の小学生全員(約87,000人)の半年分の給食費にあたるお金です!



この被害を少しでも抑えるために、北海道ではエゾシカの駆除を行っています。